

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

2月報

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ

報告数は10,235件(前月比5.2、前年同月比3.3)でした。例年に比してピークが遅く出現しています。県内各地で増加しており、警報レベルを超えている地域が見られます。菊池(192.0)、宇城(180.7)、八代(157.9)からの報告が多いようです。2月後半に入りインフルエンザBが増加しています。5才にピークがあります。

小児科定点

(全体傾向)

報告数は14,413件(前月比2.19、前年同月比2.29)と前年および前月に比して著明に増加しています。ほとんどがインフルエンザによる増加です。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症 : 報告数は221件(前月比0.6、前年同月比1.1)と収束しています。昨年12月をピークに減少傾向ですが、例年より若干多めです。水俣(13.5)、菊池(10.2)からの報告が多いです。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数は116件(前月比1.3、前年同月比1.7)と、やや増加していますが例年とあまり傾向は変わりません。菊池(7.2)、有明(6.4)からの報告が多いです。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数は368件(前月比1.0、前年同月比1.1)で、例年と変わりありません。天草(15.5)、熊本市(11.0)からの報告が多いです。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数は2,481件(前月比1.0、前年同月比1.3)で、昨年12月とほぼ同じ水準です。山鹿(104.5)、菊池(95.6)、有明(79.8)からの報告が多いです。1才にピークがあります。
5. 水痘 : 報告数は59件(前月比1.0、前年同月比0.6)で、年々低下傾向にあります。5才にピークがあります。一昨年10月に水痘ワクチンが定期となり、低下傾向が持続しています。
6. 手足口病 : 報告数は8件(前月比0.4、前年同月比0)で、昨年7月をピークにほぼ終息しています。
7. 伝染性紅斑 : 報告数は284件(前月比0.6、前年同月比18.9)で、例年に比し発症数が多く経過してきましたが、本年1月をピークに減少しています。菊池(12.2)からの報告が多いです。
8. 突発性発疹 : 報告数は107件(前月比0.9、前年同月比0.8)でした。昨年4月をピークに減少傾向にあります。
9. 百日咳 : 報告数は2件(前月比0.7、前年同月比2.0)で、2件は10歳以上でした。
10. ヘルパンギーナ : 報告数は7件(前月比0.5、前年同月比0.5)と昨年7月をピークにほぼ終息しています。
11. 流行性耳下腺炎 : 報告数は263件(前月比0.9、前年同月比4.2)で、昨年5月より増加傾向にありましたが本年1月をピークにやや減少しました。山鹿(17.0)、有明(14.0)からの報告が多いです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありませんでした。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 103 件(前月比 0.8、前年同月 4.9)とやや減少傾向ですが、昨年同期に比べ多発の状態は変わりありません。地区別では熊本 87 件、菊池 10 件、有明 6 件の報告です。年齢別では 20～49 歳台にピークがありますが乳幼児にも散発していますのでまだ注意が必要です。

STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数は 33 件(前月比 1.0、前年比 0.8)で、前月比は同数で、前年比は減少しています。男女別は、男性 8 件、女性 25 件で、女性に多く見られます。年齢は男性が 20～44 歳に見られ、女性は 15～49 歳に見られますが、15～29 歳に多く見られます。地域別は熊本が 20 件、次いで八代 5 件、有明 4 件、御船 3 件、菊池 1 件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数は 15 件(前月比 1.2、前年比 1.5)で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は男性 6 件、女性 9 件でした。年齢は男性が 20～69 歳に見られ、女性は 25～69 歳で男女ともに幅広く見られます。地域別は熊本が 9 件、次いで八代 4 件、菊池 2 件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数は 3 件(前月比 1.0、前年比 0.4)で、前月比は同数で、前年比は減少しています。男女別は 3 件全て男性で、年齢は 20～34 歳に見られます。地域別は熊本、八代、宇城各 1 件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数は 17 件(前月比 1.1、前年比 0.7)で前月比は増加し、前年比は減少しています。男女別は男性が 14 件、女性は 3 件でした。年齢は男性が 20～64 歳に見られ、女性は 15～29 歳にみられます。地域別は熊本 13 件、次いで八代 2 件、菊池、有明各 1 件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
21 件(前月比 1.0、前年比 0.7)の報告がありました。熊本 10 件、山鹿 1 件、菊池 1 件、阿蘇 3 件、八代 1 件、水俣 2 件、人吉 2 件、有明 1 件でした。年齢は 0 歳: 1 件、15～19 歳: 3 件、25～29 歳: 1 件、65～69 歳: 1 件、70 歳以上: 15 件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
5 件(前月比 0.7、前年比 0.6)の報告がありました。熊本 1 件、八代 1 件、有明 3 件でした。年齢は 55～59 歳: 1 件、65～69 歳: 1 件、70 歳以上: 3 件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告はありませんでした。(前月比 - 、前年比 -)

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 報告はありませんでした。(前月比 - 、前年比 -)
2. 無菌性髄膜炎: 10件(前月比2.5、前年比10.0)の報告がありました。熊本8件、水俣1件、人吉1件、でした。年齢は1~4歳:2件、5~9歳:2件、10~14歳:2件、15~19歳:2件、35~39歳:1件、70歳以上:1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎: 14件(前月比0.5、前年比7.0)の報告がありました。熊本12件、水俣2件でした。年齢は0歳:1件、1~4歳:2件、5~9歳:7件、10~14歳:2件、15~19歳:1件、20~24歳:1件でした。
4. クラミジア肺炎: 報告はありませんでした。(前月比 - 、前年比 -)
5. 感染性胃腸炎(ロタウイルスによる): 41件(前月比1.5、前年比4.6)の報告がありました。熊本35件、水俣5件、有明1件でした。年齢は0歳:5件、1~4歳:27件、5~9歳:9件でした。

届け出対象感染症

- 1類感染症 : 報告はありませんでした。
- 2類感染症 : 結核 : 30件
- 3類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 : 1件
- 4類感染症 : E型肝炎 : 1件
レジオネラ症 : 2件
- 5類感染症 : アメーバ赤痢 : 2件
カルバペネム耐性腸内細菌感染症 : 2件
侵襲性肺炎球菌感染症 : 3件
水痘(入院例) : 1件
梅毒 : 1件